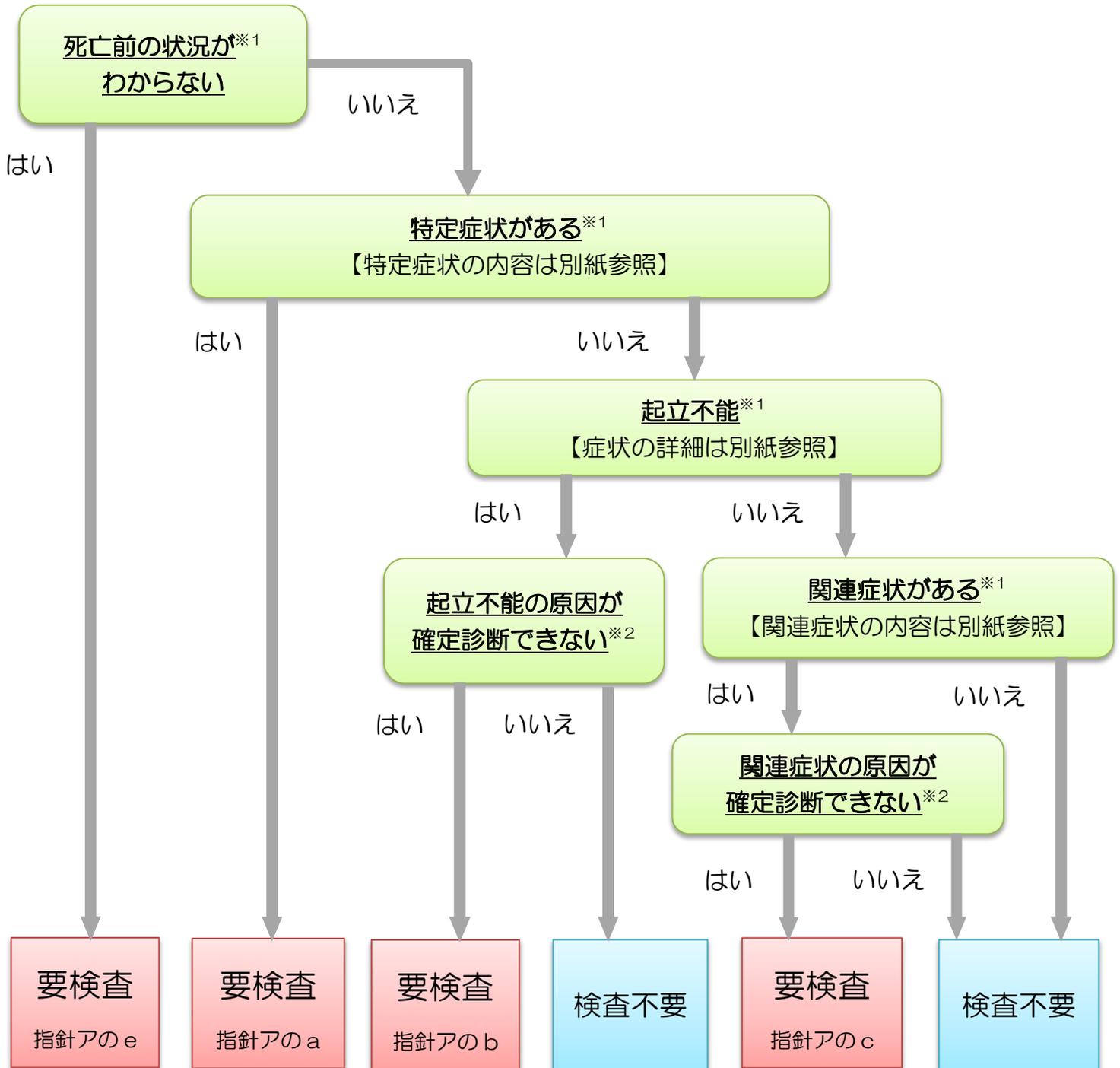


# 死亡牛の BSE 検査フロー

R6.4.1



- ※1 死亡前の特定症状・起立不能・関連症状の有無の確認は、農家への聞き取りや過去のカルテから実施して下さい。状況不明の場合は BSE 検査対象となります。
- ※2 確定診断は、客観的かつ科学的な手段で行ってください。ただし、骨折・脱臼など臨床検査で明らかに診断可能なものは、診断方法として認められます。

## 【特定症状】

- ① 治療の効果が期待できない進行性の次のいずれかの行動変化があること。  
 ② 感染症の疑いがなく、かつ、原因が不明の進行性の神経症状があること。

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| i 興奮しやすい               | ii 音、光、接触等に対する過敏な反応 |
| iii 群内序列の変化            | iv 搾乳時の持続的な蹴り       |
| v 頭を低くし柵等に押しつける動作を繰り返す | vi 扉、柵等の障害物におけるためらい |

※ ただし、以下の疾病が疑われ、かつ治療に反応せず進行性の中樞神経症状を呈していたものは、特定症状牛として **BSE 検査対象**となります。

- |                                  |              |
|----------------------------------|--------------|
| ・ヒストフィルス・ソムニ感染症                  | ・リステリア症      |
| ・大脳皮質壊死症                         | ・脳炎、脳脊髄炎、髄膜炎 |
| ・神経症（全身に異常が見られる中樞神経麻痺及び中樞神経系の腫瘍） |              |

## 【起立不能】

死亡前に、進行性に次の症状が認められ、かつ他の一般的な理由で説明できないもの。

- |             |                |         |
|-------------|----------------|---------|
| ・異常姿勢（犬座姿勢） | ・異常歩様（後肢の運動失調） | ・頭を低くする |
| ・障害物回避が困難   | ・起立不能          |         |

※ 次の疾患で、確定診断できないものは検査対象です。

- |           |                                   |            |
|-----------|-----------------------------------|------------|
| ・低カルシウム血症 | ・大腿神経麻痺                           | ・マグネシウム欠乏症 |
| ・坐骨神経麻痺   | ・乳熱                               | ・末梢神経系腫瘍   |
| ・閉鎖神経麻痺   | ・その他、末梢神経麻痺の感染症を疑わない進行性神経症状を呈する疾患 |            |

## 【関連症状】

死亡前に、進行性に次の症状が認められ、かつ他の一般的な理由で説明できないもの。

## ＜行動変化＞

- |                    |            |        |
|--------------------|------------|--------|
| ・治療の効果が期待できない行動変化  | ・沈鬱        | ・緊張    |
| ・目又は耳が左右非対称かつ過剰に動く | ・明らかな流涎の増加 |        |
| ・鼻をなめる動作の増加        | ・歯ぎしり      | ・振戦    |
| ・過剰な発声             | ・パニック反応    | ・過剰な警戒 |

## ＜非特異的な症状＞

- |           |          |       |
|-----------|----------|-------|
| ・乳量減少     | ・栄養状態の悪化 | ・体重減少 |
| ・徐脈等の心拍障害 |          |       |